

ピスガからの風 第60号

2024年5月

社会福祉法人 **近江ちいろば会**
ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4
TEL.0748-74-3900(代表) FAX.0748-74-3910
https://chiiroba.jp/

理事長挨拶



ウクライナ、パレスチナの紛争、能登半島地震など予想できなかった大きな出来事が発生しています。又想像を超えた少子高齢化の進展と働く人々の減少で、どの業界も人手不足の状況に陥っております。とりわけこの介護業界のニーズは増える中での労働力不足は、これからの社会保障制度を維持できるかどうかが問われています。幸い近江ちいろば会は事業の成長と共に職員数は増えておりまして、ここ2年で約20名の増員になっています。

職員の品質がケア品質そのものですので、キリスト教の理念経営をベースに最重点課題として採用力・育成力に力点を置いて取り組んでまいります。松下幸之助氏は「松下電器は人を作る会社です。電気製品も作っておりますが」と言われたとか。我々も人本経営を軸に邁進していきたいと願っております。地域の皆様と手を携えて、地域の安定の為に尽力してまいります。

理事長 森口 茂

2023年の成果

- コロナ感染症が5類になり、できる限り普通の日常に戻る様に心がけました。
- ① **新たな事業所展開 2023年12月**
甲賀市水口町に 小規模多機能型居宅介護 ライフサポートみなくちみんなの家開設
- ② **盛大に法人夏祭りを開催 2023年7月22日**
ご利用者、ご家族、地域の方々300名ほどの参加を頂きました。
- ③ **人材育成 (職員研修会の開催と経営人材育成)**
管理者、主任、一般職員別 一日研修会を開催し毎回25名程度参加しました。(講師:天晴れ介護サービス総合教育研究所の神原宏昌氏)
理念研修 同志社大学 木原活信先生に講演していただきました。
経営人材育成 グロービス経営大学院 短期コース 4名 受講しました。

- ④ **地域支援の展開**
子供食堂開設 毎月一回 介護者の会 3回/年
フレイル予防教室 毎月一回 たこ焼きの会 6回/年
認知症啓蒙研修会 地域の方々80名の参加を得て開催 講師:渡辺哲弘先生
- ⑤ **近畿老人福祉施設研究大会で3つの施設が発題しました。**
認知症デイサービスいこい ヘルパーステーション デイケアの家おしどり

2024年の目標

- ① **事業ごとの価値創造を図り、利用される方々の期待に応えます**
環境はインフレで、介護保険はデフレ傾向で経営環境は厳しいですが、新たな価値創造で安定経営を図ります。
在宅でお過ごしいただく事業を更に強化していきます。
新規事業(小規模多機能)の安定化 訪問介護・看護・リハビリを強化します。
- ② **地域に貢献する活動を強化**
子供食堂 フレイル予防教室 認知症啓蒙講演会に加えて
オレンジアの若年性認知症の丹野智文氏の講演会を開催予定。(11月9日)
- ③ **採用活動強化と研修SVを選任し、人材育成を強化します**
中期的にはインドネシアの大学と提携して人材確保を図ります。
育成は研修担当SVを設置して目標管理を行います。

2024年度方針発表会が行われました

近江ちいろば会では、年度初めに理事長の法人方針、各事業所の管理者による事業方針発表会が行われています。今年は事業所数も20を数えるようになり増えましたので4日間に亘り行われました。事業方針は経営をしていく上での「道しるべ」で、この方針に従っていけば必ず成果は出ると思っています。今年のスローガンは、「勇氣」としました。先の見えない不安定の時代、勇氣をもって道を切り拓いていくと願っています。



ライフサポートみなくちみんなの家が開設しました！

2023年12月、水口町中邸に小規模多機能型居宅介護「ライフサポートみなくちみんなの家」を開設しました。施設名は、地域の高齢者や、そこにかかわる人たちの生活を支えていきたいという思いと、地域の一員としてすでになじみの名前である「みなくちみんなの家」をあわせて命名したものです。

小規模多機能型居宅介護は、ひとつの事業所で、「通い」・「訪問」・「泊り」のサービスを利用することができます。慣れた場所でのなじみのある職員が対応させていただきますので、安心してサービスをうけていただけます。地域の方からの期待の大きさを感じており、すでに多くの方にご利用をいただいております。この4月から同建物内に移転したケアプランセンター、近隣にあるグループホームとデイサービスセンターの4事業所で連携し、地域福祉を支えていきます。

子羊会懇親会 2024年3月22日 会場：草津ボストンプラザホテル

近江ちいろば会の職員懇親会の「子羊会」を4年ぶりに総勢84名の職員が参加して「ホテルボストンプラザ草津様」で開催しました。恒例となった「ちいろば～ずの演奏」を聞きながら食事をいただくというディナーショーのような感じや、子羊会の役員が「ちいろば愛クイズ」で盛り上げてくれました。また、長年貢献してくださった事務長、経営企画室長への感謝も伝えさせていただきました。一本締めでは、「笑顔でも満腹！」という名言も出て、久しぶりに各職員が美味しい食事いただきながら交流をすることの大切さを実感しました。



2024年度春 新卒とキャリア採用

元元社会福祉専門学校卒業生1名とキャリア採用12名を採用することができました。今後、団塊の世代が85歳になる2040年に地域社会で安心してお過ごしになれるように、事業を強化していきたいと考えております。



(福)近江ちいろば会の事業体系

一在宅介護と認知症ケアに重点をおいた質の高いケア

寄付金・後援会費 感謝報告 2023年9月1日～2024年3月31日 [順不同・敬称略]

道城 義子	深見 祥弘・宣子	とみおか内科クリニック	富岡 幸生	奈良 譽夫	藤田 浩次
田中 晃・千栄	森 サワ子	(株)レンコーボレーション	下岡 一夫	藤田 孝子	橋本 るつ子
角川 和代	忌部 康子	水口子どもの教会		原田 潔	中道 悦子
後宮 周子	後宮 松代	京都丸太町教会		信愛幼稚園	
大野 佳子	中田 匡美	シオン会		あまやどり	
木村 淳子	扇田 紀子	日本基督教団 同志社教会		森口 まつ江	

事業内容

ケアハウス ピスガこうせい / ぼだいじデイサービスセンター / ぼだいじホームヘルパーステーション / ぼだいじ居宅介護支援センター / グループホーム / ぼだいじ / 中央デイサービスしんあい / ぼだいじみんなの家 / みなくちみんなの家(グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター、ライフサポート) / ぼだいじ訪問看護ステーション / デイケアの家おしどり / ゆめとまの家おしどり / ふれあいの家おしどり / 食堂

発行日 2024年5月
発行責任者 理事長 森口 茂
振込後援会費口座番号 00960-0-109363
社会福祉法人 近江ちいろば会
会費・年額1口5,000円(両口でも可)

地域支援事業

子供食堂 毎月 第四土曜日開催
近江ちいろば会の地域支援事業の一環で、子供食堂を開催しています。サイドタウンの「ふれあいの家おしどり」には、月一回元気な子供達が15名くらい子供食堂に通ってきます。9時30分ごろ集まり、ゲームをしたり、絵本を読んだり、公園で遊んだりして楽しんだ後 ボランティアの方3名がカレー、サラダを提供して食事を共に頂きます。子供たちの成長に少しでもお役に立てればと願っています。



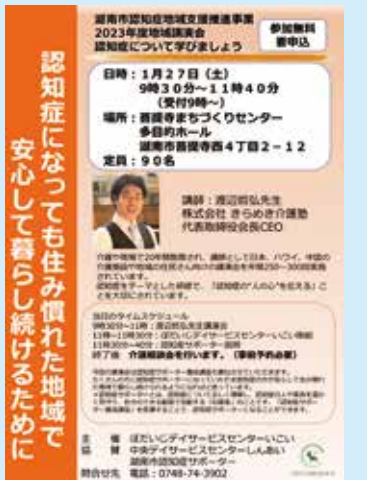
ふれあいの家旅行

地域の方々が気軽に一日旅行に行きたいとの要請を受けて「ふれあい旅行」を年に数回旅行を企画しています。2008年から始まり、これまでにしかけた回数は県内外へ約90回！昨年は兵庫県へサーカスを観に行ったり、福井県へ海鮮ランチを食べに行きました。ドアツードアでの送り迎えもあり、「この企画があるからこうして遠くへ出かけられる！」と、好評をいただいています。



認知症講演会 2024年1月27日開催 講師：渡辺 哲弘氏

近江ちいろば会の認知症支援事業の一環で認知症啓蒙活動として講演会を開催いたしました。地域の方に「認知症について学びましょう」「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために」という内容で講演会を開催し現地とオンライン含めると100名程度の方に参加いただき、認知症のこと、私達のかかわり方、その方が安心して暮らせるためのポイント等を教えていただきました。たくさんの方が良く分かった。もっと早く聞けばよかったなどの感想をいただきました。その後、訪問看護の作業療法士から「デイサービスでの活動とその重要性」、デイサービスいこいからは「口腔を起点とした、認知症ケア」の活動報告を行いました。今年度は11月9日に認知症当事者の方、オレンジアの丹野智文氏の講演会を企画しています。ご期待ください。



歌声サロン ルピナス ケアハウス ピスガこうせい

毎月2回、土曜日にピスガこうせい2階のダイルームにて歌声サロン・ルピナスが開催されています。地域の方が25名ほど、ケアハウスの入居者が12名ほどの計40名近くの方が参加され、フルート奏者の松山先生のピアノの伴奏に合わせて歌ったり、フルートの音色にうっとりしたり。素晴らしい時間を地域の方と共にピスガこうせいで持たせていただき、幸せです!!



赤い羽根募金へ 63,875円 寄付しました

法人内食堂ではフードロスの取り組みを行っています。ご利用者に提供する食料材料が余った場合、職員に安価で提供し廃棄ロスを無くす取り組みで、その収入を全額、赤い羽根募金に寄付することにしました。食料ロスを防ぎ、職員満足を上げられ、収入を寄付により世の中に還元することができました。



2023年度業務改善活動 成果発表会が開催されました

16回目となる業務改善活動成果発表会が行われ、11事業所が1年間を通じて行った取り組みの成果を発表しました。「DXによる生産性向上の取り組み」や「ケアの質の向上」「経費のコントロール」など、各事業所が様々な改善を実施しています。今年度のQC大賞は、デイケアの家おしどりの「会議でつくる みんなのデイサービス」が選ばれました。ご利用者様と一緒に「おしど里会議」を開催するなど、ご利用者の思いに寄り添い、その視点に立った支援を実践した素晴らしい発表でした。



各事業所の 取り組み紹介

ぼだいじ訪問看護ステーション

事業所の特徴

住み慣れた地域や自宅で、その人らしく療養できるように、24時間365日対応し、利用者様の療養生活を支援しています。

2023年度の成果

高齢者だけでなく、難病、小児、精神疾患など幅広い領域で訪問看護を提供しました。医師と連携し、在宅取りの増加に取り組みました。訪問リハビリも増加しています。プレイル講座を開催し地域貢献しています。

2024年度に向けて

地域の皆様の健康増進を図るため、健康教室やプレイル予防に力を入れています。いろいろな分野で活躍していたスタッフの力を発揮し訪問に生かしていきたいです。

メンバーの特徴

看護師は新たなスタッフを迎え入れリフレッシュしています。リハビリセラピストも増員予定です。明るく元気で経験豊富なスタッフばかりです。子育てと仕事を両立し頑張っています。



グループホームぼだいじ

事業所の特徴

グループホームぼだいじは、入居施設ではありませんが、お家でもありますので“良いホームだ”と言われるように、生活の質・ケアの質向上に取組んでいます。ご入居者様77～100歳の幅広い年齢の方々18名がご入居いただいております。

2023年度の成果

ご入居様の生活歴や得意なこと、好きなことなどの理解を深め、喜びや生きがい・楽しみをもってお暮しいただけるように努めています。日々の散歩での運動や家事などの役割や居場所づくり、また、食事への楽しみや季節ごとの催しなどに取組んでまいりました。そのお陰もあって、体調を崩される方も少なく健康的にお過ごしして下さる日が多くなりました。

2024年度に向けて

今年度のビジョンは「(今日よりも)明日はもっと良いケアをしよう」です。そのために①感染症の拡大予防②医療・他職種との連携③睡眠・排泄・不寝、薬に頼らないケア④居場所・役割のある生活⑤生活リズムのある生活、以上5つを重点的に取組んでまいりたいと思います。

メンバーの特徴

30～70代の職員20名が揃っています。職員の強み＝エンパワーメント！を発揮するとともに、職員一人ひとりが、理念“人にもしてもらいたと思うことを人にもしなさい”を大切に努めてまいりたいと思います。



ぼだいじデイサービスセンター虹

事業所の特徴

デイサービス虹は「充実した入浴設備」PPTとOTによる専門的な機能訓練、歯科衛生士による専門的な口腔ケア)の他、焼き鳥や買い物外出、カラオケやコンサートなどの選択制プログラムも充実。「心も体も元気になるデイサービスです。

2023年度の成果

2023年度デイサービス虹では利用者様のリクエストに応える形で「近隣のスーパーへの買い物プログラム、喫茶店への外出の機会」、「カラオケや歌声コンサートなど、のど自慢が活躍できる機会」、「炭火焼き鳥や健康麻雀などの男性に人気のあるプログラム」などを充実させました。また介護技術面では長年取り組んできた「抱え上げない介護」の実践を滋賀県社会福祉協議会様に評価していただき、「抱え上げない介護 推進事業所」に認定していただきました。

2024年度に向けて

虹が得意としている入浴サービスや機能訓練に加えて、利用者様に「デイサービス虹は楽しくて楽しくて仕方がない所だ！」とおっしゃっていただけるように、皆さんがおもしろくて、楽しく、ためになるプログラムをさらに充実させていきます。

メンバーの特徴

「笑顔」と「元気」と「高い介護技術」を持つ頼もしいメンバーに加えて、今年も新しい職員を迎え「フレッシュさ」も付け加わりました。



デイケアの家おしどり

事業所の特徴

設立、21年目になりました。設立当初は誰もが気軽にくつろげる居場所の提供として、小規模で小回りの利く体制で世の変化を敏感に感じ取り地域の人々への貢献をしていきたいという思いで始めました。それから20年の月日が流れて現在は定員18名となりましたが設立当初から大切にしている会話、笑顔、笑い、手作りの昼食は現在も変わりなく継承されています。

2023年度の成果

毎日のラジオ体操、軽体操、百歳体操、ウォーキング、遊びりテーションで身体機能が維持でき、また生活リハビリで日常生活に楽しみを持ち、心と体がともに楽しめる活動を継続しました。また、利用者様と職員が入浴に関する議題で会議を開き、まとめたものを業務改善活動で発表し1位をいただくことが出来ました。

2024年度に向けて

機能訓練、生活リハビリ、遊びりテーションの連携を図り皆様の生きがいを維持でき、住み慣れた地域や我が家で長く暮らせる支援をしていきたいと思えます。

メンバーの特徴

介護職員、機能訓練指導員(OT)看護職員、管理栄養士、調理員みんな利用者様の健康や生きがいを、幸福を願い関わらせていただいています。とにかく明るく元気！そしてよく笑うことがおしどりの職員の特徴です。



食堂

事業所の特徴

ちいろば会食堂は直営厨房として運営しており、利用者の方々のお声を身近にお聞かせ頂きながら皆様の生活の糧となる「食」の提供をさせて頂いております。「食べるは生きる」これをモットーに安心・安全で豊かな食生活を ご提供させて頂いております。

2023年度の成果

食材の高騰が続く中でも国内産新鮮野菜やその季節折々の旬の食材を使用し、季節毎のイベント食などにおいては利用者の皆様から沢山のお褒めのお言葉を頂戴するに至りました。利用者の皆様が日々の食事を通して健康で楽しんでる生活をお過ごしただけように実感しております。

2024年度に向けて

これから益々増加していくであろう在宅高齢者介護に目を向けていきたいと考えており、配食弁当や、各家庭でお考え頂く、食についての栄養講座などの開催を行っていきたく思っております。

メンバーの特徴

食堂のメンバーは総勢14名で1年365日フル活動です。みんな明るく、食べる事が大好きな面々です。お客様の「おいしかったよ」が何よりの心のプロテインです。宜しくお願い致します。



デイサービスセンターみなくちみんなの家

事業所の特徴

1日定員10名の小さなデイサービスです。ご利用者さんが家で生活が継続できる様「心も身体も元気になるデイサービス」を目指しています。小さいからこそご利用者さんの「気持ちに寄り添える」[安心できる場所]に。ご家族さんが一人で悩まれる事がないよう、ご家族さんと一緒に悩んで考えて介護しているデイサービスになる事を目指しています。

2023年度の成果

ご利用者さんやご家族の気持ちに寄り添える取り組み(誕生日のリクエストメニューや感謝カード等)の継続によって、多くのご利用者さんにご利用して頂く事ができました。100%稼働の月もありました。

2024年度に向けて

ご利用者さんが、家で生活が続けられるように、ご利用者さんの心も身体も元気になる活動を考えていきます。特に楽しくなる活動や地域に出る活動で、自立支援を積極的にいきます。また、ご家族さんの介護への負担が軽くなり、介護を続けてみようと思ってくれるよう取り組んでいきます。

メンバーの特徴

みんなが優しく、誠実で真面目です。ご利用者さんやご家族さん想いの職員ばかりです!!



ぼだいじホームヘルパーステーション

事業所の特徴

住み慣れた自宅・ご家族との生活が続けられるようにお手伝いします。介護保険利用者はもちろん湖南市の子育て支援の事業で多胎児さんやひとり親家庭の支援もしています。

2023年度の成果

ラインワークスの効果的な使い方法など取り組み、職員やケアマネや訪問看護との情報交換や連携がしやすくなりました。

2024年度に向けて

ぼだいじホームヘルパーステーションは「いつまでも自宅で生活したい」と言われるように情報発信の強化、人材育成、リーダー育成、業務効率化、他訪問事業所の差別化を図り、ぼだいじならではの連携力やネットワークの良さをアピールしていきます。

メンバーの特徴

30代から60代まで幅広く平均年齢40歳代と若いメンバーです。いろんな特技を持った職員が働いています。皆で協力し子育てや介護をしながら頑張っています。



ぼだいじみんなの家

事業所の特徴

「共に生きる あなたの人生の伴走者」の心を忘れずに「通所」「宿泊」を柔軟に組み合わせサービス提供致します。顔なじみの職員が「通い」の送迎や「訪問」「宿泊」の対応をさせていただきますので安心して過ごして頂けます。

2023年度の成果

改革会議を導入したことにより、ケアハウス・ぼだいじ居宅との連携体制が向上し、情報共有がより密になりました。DX化を進めることができ、ペーパーレスに繋げることができました。宿泊サービスを毎日継続して行うことができ、緊急ショートステイにも柔軟に対応することができました。

2024年度に向けて

「地域に開かれた事業所」[コラボレーション]、限られた時間を有効に活用しレクリエーションの幅を広げます。仕事もプライベートも「楽しむ」[遊ぶ]。介護関連の勉強会の開催を定期的に行い、介護をより面白いと感じてもらいます。職員が持つ、強みの発揮、弱みの克服。コミュニケーション力の更なる向上を図る。

メンバーの特徴

優しく、仕事熱心で、気遣いのできるメンバーが揃っています。今年度は更にチームワークに磨きをかけ、最高に楽しく、面白いチームを作りたいと考えています。



ぼだいじデイサービスセンターいこい

事業所の特徴

ご家庭での暮らしを考え、ご家族の声に耳を傾け、本人も楽しめるケアを提供しています。

2023年度の成果

- ・利用者それぞれの状況に合わせたケアを大切にしてきました。
- ・歯科衛生士が職員として加入し、「口腔ケアの大切さ」を伝えることが出来ました。
- ・「有償ボランティア」活動を発展させ、参加者の親睦会を開催し楽しみを持つことが出来ました。
- ・湖南市地域推進事業の一環として「地域講演会」を今年度も実施出来ました。

2024年度に向けて

「いこいデイ」を利用したい、利用してもらいたい、という人を増やして、地域の方にもっと名前を知って頂く取り組みを提案していきます。

メンバーの特徴

個性豊かなメンバーが揃っています、そのメンバーが大きな輪となり、大きな力となりプロフェッショナル集団です。



ゆめとまの家おしどり

事業所の特徴

広い畑があり、前には桜並木と自然豊かな環境の中にある平屋の民家を利用して12人のもてもアットホームなデイサービスです。毎週の買い物物産展、時には外食もあり、大きな楽しみの一つとなっています。

2023年度の成果

去年の7月から「〇〇へ行こう！」という「GO！活動」をスタートし、買い物、季節の花などのお出かけや図書館、そして外食などに出かけ、大変喜んでいただいています。出かけることは暮らしの中の機能訓練であり、大きな楽しみの一つとして、何よりも「心活き生き」につながっていることが一番のうれしいことと捉えています。

2024年度に向けて

ゆめとまは「一人ひとりが心いきいきと生きているなあ！」と各自が実感できる、そんな一日一日を目指します。「GO！活動」を継続して行うこと。畑を生かした園芸リハビリ、生活リハビリの中の調理活動の充実をより目指していきます。

メンバーの特徴

趣味や得意なことが多い、様々な視点から考えることができるメンバーです。チームワークで今年度もがんばりますのでよろしくお願います。



法人本部

事業所の特徴

人事・労務、経理、総務・広報、介護請求、地域貢献業務など多岐にわたる業務において担当者が法人、事業所の健全運営をサポートする専門集団です。各事業所の運営を、全力でサポートします！

2023年度の成果

2023年12月、ライフサポートみなくちみんなの家(小規模多機能型居宅介護)を開設しました。地域の在宅介護を守る岩として活動してまいります。加えて、BCP(災害)の策定を完了し、運用開始。認知症講演会の実施サポートやコロナ以後初めての夏祭りの開催など、地域に開かれた法人としての活動を行いました。

2024年度に向けて

全ての事業が持続可能な活動となるよう、全力でサポートします。採用や定着では新卒や適材適所のキャリア採用、定着に向けた研修の拡充に努めます。さらには、昨年度に策定したBCPの運用に力を入れ、地域の皆様に近江いろいろば会が安心して利用できる場所を目指してまいります。地域の高齢福祉の皆となるべく活動を推進します。

メンバーの特徴

様々な専門性を持つスペシャリスト集団です。すべてのメンバーの特徴を掛け合わせ、価値の最大化に取り組みます。今年のスローガンである「周囲3mを笑顔に」の下、近江いろいろば会の理念の実践者として笑顔とやりがいをもって職務に取り組んでいます！



ケアプランセンターみなくちみんなの家&厨房

厨房より

昨年12月から新しい厨房で仕事を始めさせていただいて5ヶ月になります。

入居者さん、ご利用者さんに接する時間は少なくなりましたが、「食べやすい料理・噛みやすい食材・食べられる時の笑顔」を目指して入居者さんに寄り添ってまいります。

ケアプランセンターみなくちみんなの家

4/1から新しい事務所に移転になりました。引越先では車の往來の音も聞こえず、地域住民の皆さんにより近づけた感じがしています。この新鮮な気持ちを忘れず今まで通り、困難事例でも任せられる居宅でありつづけたしたいと思います。

メンバーの特徴

ガッツあふれる主任ケアマネジャーと新たに加わった2名とで戦力が大幅にUPいたしました。多様な経験のあるメンバーで地域に貢献できるようにしていきます。



ケアハウス ピスガこせい

事業所の特徴

60歳以上の元気な方が長く元気で暮らしたいための施設がケアハウスピスガこせいであります。笑い声が絶えない明るさが特徴です。入居者の皆様と職員も一緒に話して語り合います。笑い合い、支え合って過ごしています。

2023年度の成果

入居者の皆様が地域の方々をつなげるための取組をしてみました。行事には地域からたくさんボランティアさんにも来ていただき、楽しい出来事・新しい出来事に出席し、加えて入居者の会にもたくさんありました。

2024年度に向けて

入居者の皆様にとって心からの「帰る家」になることを目指して運営していきます。自分の家・自宅とは、自分が心からゆったり過ごせる場所、自分を想ってくれる人がいる場所なのだろうと思います。入居者の皆様にとってそんな場所になるために、理解し合い、認め合い、大切にしたい…ピスガこせい心からのご自宅になるように目指します。

メンバーの特徴

とにかく明るく元気なメンバーです。入居者の皆様と過ごせる毎日喜び、20代から70代のメンバーで入居者様の24時間365日をサポートしています。



ぼだいじ居宅介護支援センター

事業所の特徴

それぞれのメンバーの基礎資格(社会福祉士、看護師、介護福祉士)の視点や強みを活かして、互いにサポートし支えるチームワークのもと相談支援を行っています。住み慣れた地域でその人らしい生活を送ることができるよう、自立支援の視点を大切にしています。

2023年度の成果

より良い地域づくりを目指して、地域の人たちの繋がりを他の居宅支援事業所とも連携して地域課題の解決に向けての活動にも取り組みことができました。

2024年度に向けて

○地域に根差した介護保険の相談窓口、コーディネーターとして“その人らしさ”を尊重し、誠実に迅速に対応します。○専門的知識や技術の習得に努め、主体性の高い言動を心掛けたチームワークづくりを行います。



ふれあいの家おしどり

事業所の特徴

「動くからだと、躍るころろ！」笑顔と会話が絶えない場所です。みなさんから生まれる意見を大切にしています。

2023年度の成果

コロナ禍も一応の終焉を迎え、外食やドライブに加え他事業所にも出かける機会が増え、良い交流につながっています。その中でも、デイケアの家おしどりさんとの「ポッチャ」の交流試合は、新たな取り組みとして盛り上がりました。

2024年度に向けて

開所7周年を迎えます。介護予防のデイサービスとして、ふれあいの家で「やってみたい・行ってみた」ことが日常生活でも「やってみよう・行ってみたい」となることでみなさんの生活の質が向上することを目指します。ポッチャ競技をツールにどんな他の場所へ出かけ交流の輪を広げて行きたいです。

メンバーの特徴

それぞれに個性や長特があり、バラエティ豊かなメンバーが揃っています！



中央デイサービスセンターしんあい

事業所の特徴

一軒家を少し改修し、家庭的な環境の中で落ち着ける空間です。認知症状に合わせた個別レクを提供させて頂き、自信や居場所作りに繋がっています。「お一人おひとりの培われた力を大切に」を事業所スローガンとして、認知症介護に必須の3つのない「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」を心得、「やりたい」「やってみよう」が実現できる事業所です。

2023年度の成果

非言語コミュニケーションを軸に、さまざまな視点から認知症ケアの学びを深め、実践しました。また、学童や地域とのつながりを深め交流だけでなく、地域貢献に取り組みました。そして、参加しやすいように趣向を凝らしたレクリエーション活動や環境整備にも力を入れ、よりいきいきと過ごせる事業所となりました。

2024年度に向けて

ポジティブフィードバックを多く取り入れ、課題だけでなく、にやりほっとや強みを共有します。そして、その方の「できること、やりたいこと」はなんだろう」を考え、「ありがとう」をみんなが言い合える環境を整えます。

メンバーの特徴

メンバーそれぞれがとても良い視点を持ち、アイデアも豊富です。毎月が、毎日楽しく過ごせる環境になっています。優しい雰囲気だけど、想いは強い！みんなの強みを発揮して、よりいきいきとした日々の暮らしを大切にしていきます。



グループホームみなくちみんなの家

事業所の特徴

街中にあり、本人の意思を尊重した認知症ケアと看取りケアを実践し、地域の中で自然と触れ合うことができる事業所です。

2023年度の成果

- ・ご入居者様・ご家族、地域との交流の機会を再開(運営推進会議)
- ・ノーリフティングケアの実施、福祉用具の活用、環境設定の変更で不良姿勢の改善
- ・看取りケアの実践

2024年度に向けて

ご入居者様、職員が共に長くグループホームで安心して過ごすことができるようなケアを実践します。ご入居者様の現在の身体機能の維持と生活の満足度の向上に努めていきます。職員がお互いに注意し合える職場作りやぼだいじGHとの職員交流を行います。地域の認知症ケアの拠点になります。

メンバーの特徴

介護福祉士、看護師、ミャンマー技能実習生など、幅広い世代が集まる多様な事業所で、職員が活躍しています。



ライフサポートみなくちみんなの家

事業所の特徴

昨年12月にオープンしました新しい事業所です。在宅生活ができる限り長く継続できるように、支援してまいります。

ビジョンは「地域に住む人も、誰もが認知症、高齢者、体が動けにくくても、1人になっても、自宅で可能な限り、人生の最後まで支えられるように支援する」ことです。

職員は、①個人としても、チームとしても、能力を最大限に発揮して在宅生活の最後の岩として、何が出来るかを考えライフサポートします。②理念に立ち回り、相手の立場に立ち、してほしい事をライフサポートを致します。

メンバーの特徴

看護師が3名、ケアマネジャー、介護福祉士、ピアノ演奏できる職員と多彩な職員が在籍しています。チームワークよく課題解決型の事業所を目指します。

